

台湾のメディアが取材に来訪しました

3月13日（水）、NPO法人「元気になろう福島」のご紹介で、台湾のメディアが取材に来てくれました。

東日本大震災の折には、台湾の方々個人からの義援金が圧倒的でした。その後も彼らは私達の復興を応援してくれています。この取材もその一環で、しかも台湾系の品種である「綺麗」で心の復興を目指す私達の姿を台湾の方々に伝えるということでも来てくれました。

4月3日に台湾東部で大地震が発生したのは皆様もご存知のとおりです。取材クルーの安否を心配しましたが、全員無事とのことでした。この地震で亡くなった方々に衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災した方々へお見舞い申し上げます。そして一日も早い復旧・復興を願っております。



取材クルーの皆さん



出演者は台湾で活躍する日本人です

NHKが取材に来訪しました

NHKの取材が1月に行われ、3月15日（金）の夜にローカル番組で放送されました。さらに4月4日（木）に「あさイチ」で放送されると、その後全国各地から「広野のバナナを食べてみたい」と大きな反響がありました。これから気温も上がり収穫量が増えることを期待しています。皆様も見学にお越しください。お待ちしております。



取材を受ける中津社長



取材を受ける幸森部長



公式サイト



公式インスタ

「日本一美しい日の出のまちのほどよい田舎暮らし体験ツアー」開催しました



広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。3月19日（火）～20日（水・祝）の期間で広野町主催の「日本一美しい日の出のまちのほどよい田舎暮らし体験ツアー」が開催されました。首都圏中心に20名の方々に広野町まで足を運んでいただきました。参加者の中には小学生や高校生のお子さんと一緒に参加される「子育て世帯」の移住希望者にもご参加いただくことができました。今回の体験ツアーでは、先輩移住者や住民の方々の協力、遠藤町長からの歓迎の挨拶をいただくなど歓迎ムードをつくることができ参加された方々の満足度は高いものと感じています。懇親会や座談会では体験ツアーの参加者と住民の方々と広野町での生活環境などをお話いただくことができ、広野町の自然、子育て、教育環境などの魅力や不便を感じる点など、広野町のリアルな生活環境を知っていただけたものと思います。私からは広野町の就労、住居環境や移住に関する支援制度の情報を提供させていただきました。引き続きになりますが、広野町の「まちづくり」の一環として地域の方々と連携し広野町に移住する方々とのコミュニティ醸成に取り組んでまいりたいと思います。

日本一美しい日の出のまちのほどよい田舎暮らし体験ツアー



バナナ「綺麗」の紹介



先輩移住者との座談会

広野町移住定住事業の一環である「インターン地域交流活動支援事業」が3月21日（木）の成果報告会をもって無事終了いたしました。約1か月間、全国から選出された学生6名が町内企業3社にインターンとして入り活動しました。企業の課題解決に向けて学生たちが町内で情報収集し調査したものをまとめ、企業への提案資料として成果報告会で発表しました。発表内容は常平地区までドローンを飛ばすための課題解決やゼロカーボン達成させるための取組、キッチンスタジオの利用促進など様々でした。今後も学生たちが広野町に継続して足を運び、関係人口として繋がりが継続していくような取り組みができればと思います。

広野町インターン地域交流活動 成果報告会



発表風景



集合写真